

住宅基礎巾木化粧材【弾性タイプ】
(ポリマーセメント塗材)

K I S O
【施工要領書】

2022年7月25日



二瀬窯業株式会社

用 途

適応下地 コンクリート、モルタル面 等
 仕上塗装 基礎巾木の美観向上、ひび割れ及び中性化の抑制

施工手順**1. 下地の確認**

- (1) 基礎まわりの土を掘り下げて下さい。
- (2) 素地の確認
 - I. 施工前に下地の精度を確認してください。
 - II. 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
 - III. 欠損部等から鉄筋が露出している場合は、防錆処理を施してください。
 - IV. 大きなクラックは、Vカット処理を行って下さい。

2. 吸水調整

- (1) 下地の確認・清掃が終わった後、補修を行う箇所に、ユニレックス3の5倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。
 ※下地の吸水が大きい場合はユニレックス3の5倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の5倍希釈液を塗布して下さい。

【希釈配合】

5倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	4L
ユニレックス3		600m ² /缶		(18L/缶)

3. 素地調整

- (1) 素地調整を行う場合は、施工前に必ず吸水調整を行って下さい。
- (2) 段差、ピンホール等が大きい場合は、ベース#20で補修して下さい。
- (3) 段差、ピンホール等が小さい場合は、柔軟フィラーで補修して下さい。

※補修した際には、24時間以上養生を行って下さい。

※下地の精度が悪いと、仕上ムラ、色ムラになる恐れがありますので注意してください。

3. K I S Oベースの施工【下塗り】

- (1) K I S Oベース（混和液）8 kgを、モルタル用かくはん機で攪拌しながらK I S Oベース（主材）を徐々に投入し、混ざりムラのないように均一に練り混ぜてください。

調合…K I S Oベース（主材） 12kg + K I S Oベース（混和液） 8kg
--

K I S Oベース 約20m²/セット

- (2) 材料粘度が高い（模様が尖る）ようであれば、清水を120g/セット以内で添加し調節を行って下さい。
- (3) 塗り付けは、砂骨ローラーを使用し、約 1.0 kg/m²の割合で下地が透けないように均一に塗布して下さい。
- (4) 材料は、配り塗りを横方向に行い、仕上げは縦方向で、下から上で終わらせるようにして下さい。
- (5) 塗装後、乾燥していることを確認してから次工程に進んでください。

※温度 20℃、湿度 65%RH の環境で、約 3 時間程度。

4. K I S Oトップの施工【上塗り】

- (1) K I S Oベースの乾燥確認後、K I S Oトップの施工を行って下さい。
- (2) 塗り付けは、中毛ウールローラーを使用し、約 0.2 kg/m²の割合で塗り残しの無いよう均一に塗布して下さい。
- ※K I S Oトップは水希釈を行わないで下さい。
- ※施工完了後、24時間以内は雨等の水への接触を避けて乾燥養生して下さい。

5. 注意事項

- (1) 施工前に模様を確認し、コンパネなどで試し塗りをを行い、仕上がりを確認して下さい。
- (2) 下地は十分に乾燥させた上で施工を行って下さい。
- (3) 気温 5℃以下、湿度 85%以上、または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
作業終了後に、降雨、降雪の恐れがある場合は雨養生をして下さい。夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を切り上げるようにして下さい。
- (4) 常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。
- (5) 同一面を施工する場合、入隅、出隅などの見切りの良いところまで仕上げてください。
途中での塗り継ぎは、色違い、ムラの原因となります。
- (6) 材料は極端に厚みがかからないように仕上げてください。特に入隅部分は先に刷毛で施工するなどを行い、液溜まりができないようにしてください。
- (7) 材料の保管は気温 5～40℃で、直射日光を避け貯蔵して下さい。

6. 施工工程表

工 程	材 料	調合割合	所要量 (k g/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr) ※ ₁	使用器具
素地調整	素地の確認後、吸水調整を行った後、ベース#20又は柔軟フィラーで処理					
下塗り	KISO 主材 混和液	12k g 8k g	0.95 ~1.05	1	3以上	砂骨 ローラー
上塗り	KISO トップ	4k g	0.19 ~0.21	1	—	中毛 ローラー

※1 乾燥時間は温度20℃、湿度65%RHの場合です。

7. 荷姿

KISO ベース	主 材	12k g	紙袋入り
	混和液	8k g	ロンテナー入り
KISO トップ		4k g	ポリタンク入り